

# あにわにわ 通信

## 第9号

「あにわにわ」とは、ニュージーランドの  
マオリ語で虹を意味しています。

2010.4.20

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

子育てひろば「あい・ぽーと」

住所：107-0062 東京都港区南青山 2-25-1  
電話：03-5786-3250 FAX：03-5786-3256  
E-mail：[info@ai-port.jp](mailto:info@ai-port.jp)  
URL：<http://www.ai-port.jp>

全国版子育て・家族支援者養成講座事務局

住所：〒106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509  
電話：03-6657-8539 FAX：03-3499-8539  
E-mail：[station@ai-port.jp](mailto:station@ai-port.jp)  
URL：<http://www.ai-port.jp>

### 新年度を迎えて

本法人代表理事・  
恵泉女学園大学 大学院教授  
大日向 雅美

四月、春たけなわの今日この頃です。新年  
度が始まりましたが、皆様、いかがお過ごし  
でいらっしゃいますか。

昨年度は、お陰様で本法人の子育て・家族  
支援の活動もいっそうの拡がりと共に  
深さを増すことができました。

養成講座は、港区・千代田区・浦安市で3  
級・2級共に順調に回を重ね、さらには愛知  
県高浜市において小規模型乳児保育を担う  
方々の養成という新たな企画に取り組みこと  
ができました。また住友生命相互保険会社の  
ご助成をいただいている自治体職員研修は、  
さらに各地のNPOや自助グループの活動へと  
繋げることもできました(詳細は2・3頁をご  
覧下さい)。本法人がこうして地域の育児力向  
上のための働きをさせていただくことができま  
すのは、ひとえに皆様のお力添えあつてのこと  
です。昨年度を振り返って、改めて感謝申し  
上げます。

さて政府の子育て支援策も、当初は子ど  
も手当の支給等、現金給付に話題と関心  
が集まっていた感がありましたが、ここに至  
りて、ようやく子育て支援の全体像が示され  
始めています。その一つが、下図の子ども・  
子育てビジョンです。子育ては親や家庭だけ  
が担うものではなく、社会全体で支え、見  
守るという理念と共に、仕事と生活の調和  
の重要性が前面に打ち出されています。ま  
た二〇一七年までには、出産育児後に希望  
する全ての人が仕事に復帰できるようにす  
ることが、新成長戦略に明記されました。

こうした新たな子育てシステムを成就す  
るためにも、地域の育児力向上にむけた皆  
様の活躍が真に求められる時代を迎えたと  
いえます。市民と行政と企業が、心を一つ  
にして、それぞれの特性を活かしながら、子  
育て支援の充実に向けて励んでいけたらと  
願っております。どうか今年度も引き続き、  
本法人の活動を見守り、ご助力下さい  
ます様、お願い申し上げます。  
最後にになりましたが、千代田区の吉野  
氏・高浜市の都築氏・浦安市の佐々木氏が、  
ご退職ご異動になりました。この間、大  
変お世話になりました。御礼と共に、益々  
のご活躍をお祈り申し上げます。

## 「子ども・子育てビジョン」

**基本理念の転換**  
(子どもと子育てを応援する社会)

家族や親が子育てを担う  
《個人に過重な負担》

社会全体で子育てを支える  
《個人の希望の実現》

- 子どもが主人公(チルドレン・ファースト)
- 「少子化対策」から「子ども・子育て支援」へ
- 生活と仕事と子育ての調和(M字カーブを台形型へ)

**バランスのとれた  
総合的な子育て支援**

《子育て家庭等への支援》

《保育サービス等の基盤整備》

- ・子ども手当の創設
- ・高校の実質無償化
- ・児童扶養手当を父子家庭にも支給
- ・生活保護の母子加算

- ・待機児童の解消に向けた保育や放課後対策の充実
- ・幼保一体化を含む新たな次世代育成支援のための包括的・一体的な制度の構築に向けた検討

**待機児童の解消等に  
向けた明確な数値目標  
(5年後の姿)**

○潜在的な保育ニーズに対応した保育サービスの拡充

<保育サービスを受けている子どもの割合>

[現状] 3歳未満児の **4人に1人** (24%)

[H26] 3歳未満児の **3人に1人** (35%)

{ 3歳未満児：75万人  
全体：215万人 }

※年5万人の増

{ 3歳未満児：102万人  
全体：241万人 }

○放課後児童クラブの充実(主に小学校1～3年)

[現状] **5人に1人** (81万人)

[H26] **3人に1人** (111万人)

**「企業の取組」を促進**

- 次世代認定マーク(くるみん)の取得促進(652企業⇒2,000企業)
- 入札手続き等における対応の検討(企業努力の反映などインセンティブ付与)

**「地域の子育て力」を重視**

- すべての中学校区に地域子育て支援拠点を整備(7,100か所⇒10,000か所)
- 商店街の空き店舗や学校の余裕教室・幼稚園の活用

**「男性の育児参加」を重視**

○男性の育児休業取得を促進

[現状] 男性育児休業取得率 **1.23%**

[H29] **10%** \*参考指標

○男性の育児参加を促進

[現状] 6歳未満の子どもをもつ  
男性の育児・家事時間 **1日 60分**

[H29] **1日 2時間30分\*** 参考指標

## 【行政関係者のご異動】

- 千代田区児童・家庭支援センター所長  
(前)吉野 紀子様(新)峯岸 邦夫様
- 高浜市こども未来部こども育成グループ  
(前)都築 真哉様(新)磯村 順司様
- 浦安市こども部こども家庭課子育て係  
佐々木一嘉様は担当が変わりました。

吉野様、都築様、佐々木様  
今までお世話になりました  
峯岸様、磯村様  
これからよろしくお願ひ致します

## 【二〇〇九年度講座報告】

二〇〇九年度も全国で多くの方が養成講座を修了され、様々な場所でご活躍いただいています。

### 〈港区〉

- 子育て・家族支援者養成講座三級第VIII期  
三月二十五日終了 認定者数三十二名

- 子育て・家族支援者養成講座二級第VI期  
十二月十一日終了 認定者数十六名

### 〈千代田区〉

- 子育て・家族支援者養成講座三級第IV期  
七月十七日終了 認定者数七名

- 子育て・家族支援者養成講座二級第二期  
十二月四日終了 認定者数六名

### 〈浦安市〉

### 《一般コース》

- 子育て・家族支援者養成講座三級第IV期  
七月十三日終了 認定者数 三十二名

- 子育て・家族支援者養成講座二級第三期  
十二月七日終了 認定者数 十名

## 《児童育成クラブ指導員コース》

- 養成講座三級第IV期  
七月十三日終了 認定者数八名

## 《子育てケアマネジャー》

- 養成講座集中講義第三期  
三月二十三日終了 認定者数三名

### 〈高浜市〉

- 子育て・家族支援者養成講座第二期  
九月一日終了 認定者数 十五名

## 【バックアップ研修開講予定】

### 〈港区〉

- 四月十七日(土) 九時三十分から十二時三十分  
内容 布絵本作成ワークショップ  
講演 「子育てママの成長」  
会場 子育てひろば「あい・ぽーと」二階  
(申込は終了致しました。)

- 五月二十八日(金) 十六時から十七時三十分  
内容 活動報告&話し合い  
(三級、二級分かれての報告も予定)  
講師 大日向雅美(本法人代表理事・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長)  
会場 子育てひろば「あい・ぽーと」二階

### 〈千代田区〉

- 四月二十三日(金) 十四時から十五時三十分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 新澤誠治(本法人代表理事)  
会場 西神田児童センター小ホール

- 五月十日(月) 十時三十分から十二時  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 伊藤美佳(東洋大学ライフデザイン学部生活支援学専攻講師)

- 会場 千代田区役所 四〇二号室

- 六月四日(金) 十三時から十四時三十分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向雅美(本法人代表理事・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長)  
会場 千代田区役所 四〇四号室

### 〈浦安市〉

### 《一般コース》

- 五月十四日(金) 十時三十分から十二時  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向雅美(本法人代表理事・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長)  
会場 浦安市文化会館(予定)

- 五月十四日(金) 十三時から十四時三十分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向雅美(本法人代表理事・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長)  
会場 浦安市文化会館(予定)

### 〈高浜市〉

- 四月二十三日(金) 十三時から十四時三十分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向雅美(本法人代表理事・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長)  
会場 高浜市女性文化センター 和室



Illustrated by GEN

## 【養成講座開講情報】

### 〈港区〉

- 子育て・家族支援者養成講座(二級)VII期  
開講日 二〇一〇年五月二十八日(金)  
毎週金曜日で七月二十三日まで  
講義と実習を含む三十コマ  
会場 子育てひろば「あい・ぽーと」  
「問合せ先」  
子育てひろば「あい・ぽーと」池田  
TEL 〇三(五七八六)三二五〇

### 〈千代田区〉

- 子育て・家族支援者養成講座(三級)V期  
開講日 二〇一〇年五月十日(月)  
原則毎週月曜日(一部別日あり)で  
七月十二日(月)まで  
会場 千代田区役所もしくは西神田児童センター 他  
「問合せ先」  
あい・ぽーとステーション  
子育て・家族支援者養成講座事務局  
TEL 〇三(六六五七) 八五三九  
千代田区担当 榎本・佐瀬・蒲生

### 〈浦安市〉

- 子育て・家族支援者養成講座(三級)V期  
開講日 二〇一〇年五月十四日(金)  
原則毎週金曜日(一部別曜日あり)  
で七月十三日(金)まで  
会場 浦安市文化会館(予定)  
「問合せ先」  
あい・ぽーとステーション  
子育て・家族支援者養成講座事務局  
TEL 〇三(六六五七) 八五三九  
浦安市担当 榎本・古閑

申し込み方法など詳細については、各自自治体の広報ホームページ、及び当方人のホームページに掲載しております。  
お知らせの方などがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

# 第III期全国自治体職員研報告

住友生命創業一〇〇周年記念事業『未来を築く子育てプロジェクト』助成事業(全国自治体職員向け研修(第三期))が二〇一〇年一月二十日・二十一日(於 子育てひろば「あい・ぽーと」)と二月十五日(於 浦安市文化会館)で、二回に亘り開催されました。

## 第一回報告

第一回目のテーマは、「現政権の理念である『ソククリートから人へ』を地域の子育て支援にいかに関与させるかです。NPOと自治体の協働のあり方について検討を深めるため、子育て支援に優れた実績を積んでいる各地のNPOや子育てサークルを、あい・ぽーとにお招きしました。初めに、住友生命保険相互会社調査広報部CSR推進室の澤春生室長にご挨拶を頂き、続いて厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課少子化対策企画室の朝川知昭室長に、最新の施策について講演を頂きました。

先進事例報告では、Romantic Mothers Style(山梨県南アルプス市)代表新津幸様、NPO法人ミーズ・ネット(新潟県上越市)理事長中條美奈子様、子育てサポートグループ Doula Club(奈良県香芝市)代表理事三木幸様、NPO法人ハートフレンド(大阪府東住吉区)代表理事徳谷章子様にそれぞれの活動についてプレゼンテーションを頂きました。自治体からは子育て行政担当者四十名の参加がありました。



NPOの代表の方々には、それぞれの特色ある活動についてお話いただきました。

## 【全国自治体職員研修に参加して】

Romantic Mothers Style 代表 新津幸

私たちが選ばれた意味をよく考えて、いち母親達の現場を伝えようという思いでのぞんだ今回のプレゼンテーション。

サークルのメンバー支援してくださっている方々…そして家族。たくさんの方のお力添えをいただき出来上がりました。

私たちが今できる精一杯の発表の後、先生方に「よくやった!」のお言葉をいただいたときには二人で控室で抱き合い涙が止まりませんでした。

皆様はまだ育ててもらっている立場でありながら、私達の勝手な思いや現状を伝えさせていただく機会をいただいたこと、感謝しております。

皆様からの温かいお言葉・応援メッセージ…ひとつひとつ大切にしていきたいと思えます。また皆様にお会い出来るように、頑張りたいと思います!

ママたちのつながりを深めながら、子育てを一緒に楽しみたいと、古民家を拠点に若い母親が輝ける場を提供し、社会参加につなげた活動をしている平均24歳の子育てサークル。第2回よみうり子育て応援団奨励賞受賞。

NPO法人ミーズ・ネット理事長 中條美奈子

「自治体とNPOとの協働」というテーマに、全国からあつまった受講者の行政の皆さんが熱心に質問し語り合う様子を見て、これから各地で多くの良い形の連携が実現していくのだろうと心強く思いました。

## 第二回報告

第二回目は、厚生労働省 港区・浦安市・千代田区からご後援をいただきました。対象者は自治体職員の方々と共に、子育て・家族支援者、一般市民の皆様にもご参加いただき、総計二〇〇余名となりました。澤春生氏(前出)、朝川知昭室長(前出)、浦安市長松崎秀樹氏そして本法人理事八名が壇上に並びながら、十時十五分に研修会は幕を開けました。来賓の御挨拶に続き、朝川室長による基調講演、そして本法人理事八名が各々二分間の短いレクチャーを投げかけた後、シンポジウムが始まりました。今回の研修のテーマは「地域の子育て・家族支援者養成」としているため、このシンポジウムには人材養成を担当している四自治体職員の皆様にもご参加いただきました。

大日向代表理事、汐見理事の司会のもと、自治体の立場からその実態をお話して頂き、朝川室長は国の立場から、松崎市長は首長の立場から「意見・ご感想を述べられました。人材養成という時間のかかる事業を進めていくには、熱意だけでなく、明確な方向性をもつこと、そして、市民と行政が常に率直に、粘り強く相談して取り組んでいく必要性が挙げられました。屋敷の休憩のあとは、青山学院女子短期大学の中村征子先生による「子育て支援の実際」に必要とされる絵本の読み聞かせについて、「おもちゃのこま」む代表小松和先生による「子育て支援に必要とされるおもちゃ」の講演がありました。その後「浦安市子育てケアマネジャーの活動に学ぶ」学童保育「こんぱん」とひろはの実践「発達障害の子とどう向き合うか」相談コーナー「手作りおもちゃ」の6分科会に分かれ、各参加者には、興味のあるテーマを掘り下げ

て学んで頂きました。一日頭を使った後は、古武術を介護に取り入れた介護福祉士の岡田慎一郎先生による「子育て支援での身体の使い方」で、実際に身体を動かしながら楽しく学びました。最後に、各分科会担当の講師による振り返りで締めをし、充実した長い研修の一日は終わりました。全国から集まった自治体職員及び参加者が、地元へ帰って、今回の研修で学んだことを生かしてそれぞれの地域の「子育て支援」に貢献されることを願っております。

## 【シンポジウムに参加して】

港区子ども家庭支援センター所長 保志幸子

今回このシンポジウムで、子育て・家族支援者の養成のあり方と活動の実際について皆さんとお話しする機会を得て、あらためて、新しい時代にマッチした行政の子育て支援施策のあり方を考えるよい機会となりました。「行政のみで、区民(市民)の必要とする子育て支援を進めることはできない」と様々な場で語られますが、各自治体でNPOとの協働の取り組みが始まっている一方で、まだまだ進めながら探り、また創りなおしているという実態もあります。

港区では、あい・ぽーととステーションとの出会いにより、子育て分野のNPOとの協働体制が始まり、現在は様々なサービスを展開しています。これからの港区にとって先進的の心のもった活動内容を提案していただき、共に子育てを優しく応援する可能性が広がっていると感じています。

これから港区民の皆さんにふさわしい支援を共に創っていきましょう。よろしくお願いたします。

そして講師として呼んでいただいた私自身が多岐の活動を学ばせていただきました。大日向先生を始めアドバイザーの方々からは日頃の活動では知りえないような情報や考え方を直接伺えました。様々な活躍している他団体の皆様とお話し、交流する中で皆さんのヒントをいただきました。また、あい・ぽーとの皆様の、一人一人を尊重し丁寧に対応してくださる姿に接することが出来たことも大きな収穫でした。

「子の成長は親の幸せから」をモットーに、十数年前から子育てに関する寸劇や企業に出向いた子育て講座等を実施、「子育てするなら上越市のリード役を果たしてきた団体。第2回よみうり子育て応援団選考委員特別賞受賞。」

子育てサポートグループ Doula Club 代表理事 三木幸

自治体とNPOとの協働についてお話させて頂きました。参加する方々の真剣な眼差し、熱いエネルギーを感じ、私自身が逆にパワーを頂きました。エモーショナルサポートを実践できる支援者の育成をテーマにおいた子育て支援をどう理解し、どう協働していくか?。その協働に息詰まりを感じていた私にとって、今回は改めて協働を考え振り返る良い機会となりました。

目に見えないエモーショナルサポートを、同じ支援仲間として互いを尊重し非力を補い合いながら協働をしていくのが理想。出会った皆さんと共に今後も頑張っていきたいと心からそう思えた研修でした。本当にありがとうございました。

グループ名の「ドゥーラ」はギリシャ語で子育てのサポート役を意味する。「当事者の視点を持ち合わせた支援」を目指し、行政との協働のもとで積極的に活動を展開している。第一回よみうり子育て応援団奨励賞受賞。



真剣に講義を聴く参加者の方々

NPO法人ハートフレンド代表理事 徳谷章子

NPO法人あい・ぽーととステーション主催の「全国自治体職員研修」にお招きいただきとても勉強になりました。一番感激したのは、職員の方々が、私が思っていた以上に、「仕事」としてというより、「なんとかしなくては」という気持ちで、子育て支援に熱心だということ。当団体は、活動を初めて7年目に入りました。活動は、行政からの「場所の確保」という大きな支援が始まりました。法人化や事業の運営、拡大においても、委託事業や助成事業が大きな後押しとなってきました。今後もNPOとして、地域に役立ち、そして行政からも信頼される活動を展開したいと思えます。そして、地域の自治体職員の方とよりよい関係づくりが実現できるように、お互いのコミュニケーションを大切にしていきたいです。ありがとうございました。

「地域に密着し、0歳児から高齢者まで多世代が交流出来る活動を展開しているNPO法人。第一回よみうり子育て応援団大賞受賞。2009年近畿ろまんNPOアワード大賞受賞。」

千代田区児童・家庭支援センター所長 吉野 紀子

「子どもと親の育ちを地域全体で暖かく支えるまち——千代田」を基本理念とする行動計画のもと、千代田区は子育て支援にとりわけ力を入れてきました。保育園・学童クラブの待機児童ゼロ対策、国に先駆けた次世代育成手当、そして何より地域の子育て人材育成です。屋間人口の5%、五万人足らずの住民、その殆どがマンション居住者という都心千代田区でも、支援者養成講座に毎回十名前後の受講者が参加、少数精鋭の認定支援者として活躍しています。これから取り組む新たな施策にも、なくてはならない人材となるでしょう。

今回の研修でますます感じた支援者育成の大切さを、あい・ぽーととステーションの皆様とともに全国に発信していきたいと思っております。

浦安市子ども部 子ども家庭課課長補佐 本田恭代

子育て支援の職場に就き四年が経過し、その間受講した研修は数知れず。吸収することばかりの私が、今回の研修に、話す側で参加するお話を頂き、「戸惑ってしまっただけの一言でもありません。それでも開催市としての思いと、周りの方々の支えがあり、力不足ながらも、お引き受けする」としました。

始めてしまえば、引つ張られるまま終えられましたが、伝えたい趣旨が自分の言葉で伝えられたか、聞き辛くなかったかなど、反省しきりです。それでも、この経験は、私にとって大きな研修となりました。機会を与えてくださった、大日向先生をはじめ、あい・ぽーととステーションの皆様、私の所属する子ども家庭課の仲間たちに感謝しています。

高浜市子ども未来部 子ども育成グループ 都築真哉

今回のシンポジウムでは、高浜市の取り組みを再認識するとともに、また、それぞれの自治体が地域性を活かした取り組みを展開していることを確認できました。このことは、自分自身にとっても、わが市にとっても大変いい機会をいただけたと感謝しています。養成講座の実施では、制度を眺みながら走り続けることの大変さ、NPOと協働の難しさなど、市区町村にとって、これまであまり経験のない展開が多い中、先生方や支援者さんたちの熱意に対して、われわれ行政がどのように応えていくのか、苦労の日々でした。とはいえ、この経験を今後の本市の子育て支援をはじめとする行政運営に活かせるよう努めたいと思っております。



どの分科会もみなさん積極的に参加・質問なさっていました。

※自治体職員の方々への届書は、平成二十二年二月十五日現在のものです。